

令和6年度修紅短期大学附属認定こども園 学校関係者評価

1、学校関係者評価者

修紅短期大学附属認定こども園 PTA 会長	小岩 玄汰 様
修紅短期大学附属認定こども園 PTA 副会長	伊藤 恵美 様
〃	熊谷 正江 様
〃	松島 裕也 様
修紅短期大学幼児教育学科主任	鈴木 美樹子 様

以上5名

2、学校関係者評価次第

- ① 園長挨拶
- ② 運営状況報告（資料1、資料2—要覧）
- ③ 自己評価報告（資料3）
- ④ 評価者講評
- ⑤ その他

修紅短期大学附属認定こども園

(1) 令和6年度事業報告

(教育・保育の質の向上)

- ・ 8年ほど前から、保育教諭の教育保育の質向上を目的とした園独自の公開保育を開催している。今年も県内各地から多くの保育教諭や一関市教育委員会の方等、15名に参加いただき開催することができた。公開保育に向けた取り組みについては、月に2回程度の園内研修を「子ども理解」～関係性(子ども同士、身近な大人)の中での育ちの理解と保育実践～というテーマに沿って行った。本園の公開保育は、教職員においては主催者側であることから、多くのエネルギーを使うことになる。今年度は、参加者とのグループワーク形式にした。本園の各学年で課題としている所を事前にあげて、そのことについて様々なご意見をいただくことができた。公開保育を見ての感想、保育を見てのアドバイス、日頃の保育の悩み等を、参加者と一緒に語り合うことができ有意義な時間となった。

(運営)

- ・ 少子化が進む現状の中、本園でも定員を大きく下回る園児数となった。今後も少子化は進む傾向が続くと思われる。経営の安定を図り、子供達の教育環境の質を落とすことなく運営を継続させるためには、園児数確保が重要な課題である。そこで、実施2年目となる一般公開を行った。本園に興味をもって頂くことを目的として開催した。こども園での子供達の様子や指導の内容について少し掘り下げて伝える場とした。未就園の子供をもつ保護者を中心に参加いただき、来年度の園児募集にも影響を与えた。
- ・ 今年度は、様々な行事の内容を見直し、職員で話し合いながら取り組んできた。また、動画の配信等は継続し、保護者に対する情報提供に取り組んできた。今後もYouTube配信等の取り組みは継続していく。

(2) 令和6年度定員充足率 定員 240名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実員	171	176	176	176	177	178	178	177	177	177	177	177	176人
充足率	71	73	73	73	74	74	74	74	74	74	74	74	73%

(3) こども園運営について行政からの指導、指摘事項について

一関保健所より(指摘事項)

- ・ ノロウイルス検便検査を、10月から3月までの間に月1回以上実施。
- ・ 調理場は、湿度80%以下、温度25℃以下に保つこと。
- ・ 厨房前室の壁の上方に空間(穴)が開いている為、開口部からの汚染を防止する措置、対策をすること。

(4) 安全対策関係報告(保険対応)

- ・ (4月) 4歳児 上唇小帯裂創
- ・ (6月) 1歳児 外傷性脱落

以上2件

- ・ 今年度、途中退職や育児休暇等により職員不足となった。その為、現状の職員で対応するため、入園希望はあったが、途中入園の受け入れが難しかった。次年度については、職員確保が大きな課題である。

## ①令和6年度自己評価結果

資料3

### 【本園の教育・保育目標】

「にこにこ ぴんぴん みんな なかよく なにかで ひとより」

### 【令和6年度 重点的に取り組む目標】

#### ○教育課程の充実

幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直し

#### ○保護者への情報提供

園だより・学年だよりの発行や個人記録、連絡帳による保護者への情報提供

### 【令和6年度 重点的に取り組んだ具体的項目とその設定理由】

#### A 幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直し

#### 〔step1〕幼児理解につながる記録の工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・ねらいに応じた環境構成をし、子ども達の姿、様子から成長した所を記録する。
- ・活動時の様子やエピソードを記録に残し、個人記録記入の際に一人ひとりの様子を振り返る。
- ・写真を見ながら場面の読み取りをし、記録に残す。
- ・一人ひとりの成長過程に合わせながら、個別指導計画や月案、日週案を作成する。
- ・子どもの特徴を捉えてかかわり、遊びや生活の様子を記録する。

#### 〔step2〕各自で工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・子どもが興味を示している遊びに注目し、必要な材料などを準備する。
- ・好きな遊びや活動ができるような教材準備や活動内容を考える。
- ・送迎の際に保護者に対して、その日の様子等を口頭で伝える。
- ・子どもの動線を考えた安全な遊具等の配置を考える。

#### 〔step3〕各学年で工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・年齢に応じた制作、活動内容を考え、子どもの様子や成長に合わせた環境構成を考える。
- ・その日の様子等を口頭で詳しく伝える。
- ・子どもが興味を示している遊びよく観察し、必要な材料などを準備する。
- ・指導計画作成にあたり、子供の様子や一人ひとりの成長に合わせた環境や援助方法を職員間で話し合い、情報共有をする。

#### [step4]園全体で工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・園内研修を通して、写真から読み取れる心情やどのような育ちにつながるか等、子どもの様子について意見交換を行い、子ども理解を深める。
- ・公開保育を実施し、様々な意見を基に保育を見直し、保育室の環境づくりを考え、工夫する。
- ・毎月の安全点検の実施、危険箇所を把握し、安全に過ごすことができるような環境を意識する。
- ・ヒヤリハット表を利用して、園舎内外の危険箇所を把握し、職員で共通理解をする。
- ・園行事、個人記録、おたより発行についての見直しをしながら、取り組みの工夫をする。

#### B 園だより・学年だよりの発行や個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

##### [step1]情報提供に向けた成長の記録の工夫

##### \* 園だより・学年だよりの発行

- ・個々の活動や生活の様子を観察し、成長の様子を把握して記録する。
- ・担任・副担任、職員間で情報交換をし、保護者へ詳しく伝えるようにする。

##### \* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

- ・副担任と一日の子ども達の様子を伝え合い、具体的な内容を記録する。
- ・文章や写真だけでは伝わらない園での姿を、YouTube 動画配信で伝える。

##### [step2]クラス全体の様子を伝える工夫

##### \* 園だより・学年だよりの発行

- ・おたよりは月に1回の発行を行い、行事のねらいや目的を伝える。
- ・月に行う遊びや制作、生活について等の取り組みについて伝える。

##### \* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

- ・写真に文章やコメントを加え、様子をわかりやすく記載する。(にこぴん記録など)
- ・YouTube での動画配信で、園での姿を伝える。

[step3]お便り等の発行を通して、保護者へ伝える工夫

**\* 園だより・学年だよりの発行**

- ・伝えたいことを簡潔にまとめ、行事の内容、保護者に準備してもらいたい内容等を記入する。
- ・おたより作成時には、写真を使うだけでなく、見やすさや手紙のサイズ、レイアウト等を考えて作成する。

**\* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供**

- ・連絡帳や口頭で日々の子どもの様子や成長している所をわかりやすく伝える工夫をする。
- ・2か月ごとに発行するにこびん個人記録にエピソードだけではなく、保育教諭の願いや思いなどを記入し、伝える工夫をする。

[step4]一人一人の成長の様子や園生活の様子をそれぞれ十分に伝える工夫

**\* 園だより・学年だよりの発行**

- ・担任・副担任と連携しながら、子どもの様子等の情報交換をする。
- ・具体的な内容を伝えることができるよう、一人ひとりの子どもの様子や姿をよく観察する。

**\* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供**

- ・毎月の様子や成長の姿をにこびん記録に記載する。
- ・個人記録の内容を具体的に記入し、保護者へ伝える。
- ・園の様子を伝える際に、家庭での様子も聞くようにし、保護者との情報共有を心掛ける。

令和6年度 自己評価シート まとめ

【令和6年度 重点的に取り組んだ項目とその評価結果】

**A 幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直し**

[step1]幼児理解につながる記録の工夫

◎具体的項目

- ・連絡帳や電話、送迎時に子どもの様子を保護者に伝え、連携をとる。
- ・友達とのかかわりや生活の様子から子供の心情を読み取り、一人ひとりの成長に合わせたかかわりを心がける。
- ・写真や、記録から個々の成長や友達とのかかわり等を読み取る。

## ◎評価結果

- ・保護者に園での様子を詳しく伝えることができるように、一人ひとりをしっかりと観察し、忘れないようにメモすることができた。
- ・遊びのきっかけづくりや日々のかかわり方を考えることができた。
- ・写真や動画、記録を見ながら、一人ひとりの子どもの様子を振り返ることで、子どもの成長を見逃さずにより理解してかかわることができた。

## [step2]各自で工夫

### ◎具体的項目

- ・興味のある遊びや教材を準備し、のびのびと遊ぶことができる環境づくりを心がける。
- ・子供の導線を考え、物の配置を変える等、安全面に気をつけながら環境を作ることができた。
- ・保育教諭も物的環境の一部であることを常に意識して保育を行う。
- ・ホワイトボード等を活用し、子供達が見通しをもって、活動がスムーズにできるよう工夫する。

## ◎評価結果

- ・子どもの興味に合わせた教材を準備したことで、それぞれが好きな遊びを楽しむ環境をつくることができた。
- ・一人ひとりに合ったかかわりを考え、発達段階を見て援助が必要などところを見分け、保育教諭も物的環境の一部であることを常に意識しながら保育にあたることができた。
- ・ホワイトボードを活用し、制作活動説明や頑張してほしいこと、約束事等を記入し視覚からもわかるようにした事で、子供達が自分達で意識したり、理解したことで、行事や活動の際の行動がスムーズになった。
- ・副担任や他学年の職員との情報共有をしっかりと行い、安心して過ごせるようなかかわりや環境づくりをすることができた。

## [step3]各学年で工夫

### ◎具体的項目

- ・日々の活動内容や行事にむけての準備などを計画的に進める工夫をする。
- ・年齢に応じた制作や教材選び、発達段階に合わせた援助や活動の内容を考える。
- ・楽しく活動や遊びができる場所や空間を作ることができるように、保育室内の環境の見直しをする。
- ・職員間で話し合いを行い、情報共有や子どもの姿などの共通理解をする。
- ・既製品の玩具だけではなく、手作りの玩具を制作する。
- ・合同保育時の過ごし方を話し合う。

## ◎評価結果

- ・職員間で情報共有をし、子ども達の様子に合わせながら指導計画を立てて、行事や活動に取り組むことができた。
- ・保育室の整理整頓をしながら、子ども達が楽しめる空間づくりをしようと話し合ってきたが、思うように実践できなかった。
- ・活動で使用する教材などの教材研究をし、年齢に応じた技法などを使って制作や活動を進めることができた。
- ・月齢や成長に違いから、全体で活動することの難しさを感じた。子どもの様子を見ながら、職員間で保育の方法を考えていきたい。
- ・合同保育時(朝、夕、季節の行事等)の過ごし方について職員間で話し合い楽しく、安全に過ごせるような工夫をする事ができた。
- ・牛乳パックなどの廃材を使用して手作りの玩具を作ったが、子供の人数に対する必要な数が準備できなかった。
- ・様々な素材の玩具を準備し、安全に遊べるように工夫していきたい。

## [step4]園全体で工夫

### ◎具体的項目

- ・公開保育を実施し、保育環境の見直し、保育について必要な環境は何か等考え、保育に活かせるようにする。
- ・園内研修の中で子どもの様子を情報交換し、子どもの様子を話し合い、子ども理解に努める。
- ・毎月の安全点検、ヒヤリハット表、委員会で室内外の危険箇所の把握をし、改善が必要なところを確認する。
- ・感染症対策として、保育室内の換気や消毒を常に実施し、安心して過ごせるような環境を整える。
- ・園行事の開催、内容を見直しをし、保護者も、子供も楽しめるようにする。

### ◎評価結果

- ・公開保育の際に外部の方から意見をいただくことで新たな気づきがあり、自分の保育や保育室内の環境を遊び等を見直すきっかけとなった。
- ・安全点検をすることで危険箇所を把握し、改善できるところはすぐに行い、子ども達が安心安全に遊ぶことができる環境づくりをすることができた。
- ・安全に遊ぶことができるよう、職員間で、園庭、遊戯室、保育室などの職員配置について話し合いながら保育を行った。
- ・環境委員会の中で、危険箇所を共有することで、自分では気が付けなかった場所を把握でき、注意しながら保育することができた。
- ・会議に参加できる職員が少ない為、短時間でも集まって話し合いをする時間をつくっていく必要がある。

## B 園だより・学年だよりの発行や個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

### [step1]情報提供に向けた成長の記録の工夫

### ◎具体的項目

- ・健康状態、食事面など様々な視点から子供の姿を見て、成長した部分の記録をとる。
- ・遊びや生活の様子を記録し写真を取る等、子どもの様子の振り返りができるようにする。
- ・職員間で情報交換をし、園での様子を詳しく保護者に伝えるようにする。
- ・にこぴん記録や連絡帳を通して遊びの様子や行事への取り組みの姿を伝え子どもの姿を共有する。

## ◎評価結果

- ・記録の作成をとおして、一人ひとりの成長を感じることができた。
- ・子どもの様子について、職員と意見交換を行うことで、様々な視点で捉える事の大切さに気付き、幼児理解につながった。
- ・連絡帳や送迎時に口頭で子どもの園での様子や頑張り等を伝えることができた。  
写真にエピソードやコメントを加え、具体的にわかりやすく記入することができた。
- ・2か月に一度の個人記録発行となったが、写真を多く取り、その様子を詳しく記録することができた。

## [step2]クラス全体の様子を伝える工夫

### ◎具体的項目

- ・個人記録、写真、動画配信を通して、子ども達の遊びの様子や行事への取り組み等の様子を伝える。
- ・学年だより、個人記録、連絡帳には簡潔でわかりやすい文章や言葉を使って記入する。
- ・保育参観日や送迎時に子ども達の様子を具体的に伝える。

### ◎評価結果

- ・YouTube 動画配信により、おたよりでは伝えきれない部分の子ども達の日常の姿を伝えることが出来た。
- ・クラス全体の行事の取り組みの様子等、文章だけではなく写真を使うことで様子が良く伝わったと思う。
- ・連絡帳や学年だより等は、より伝わりやすい文章を書くことを意識した。
- ・おたよりでは伝えきれない部分を、保育参観日や送迎時に口頭でも保護者に伝えることができた。

## [step3]お便り等の発行を通して、保護者へ伝える工夫

### ◎具体的項目

- ・学年で行う行事、活動内容、準備物などをおたよりやメールに分かりやすく記入する。
- ・園だより、学年だより等内容が重ならないように話し合いながら作成する。
- ・個人記録には成長の様子や発達過程を知らせる。
- ・文字の大きさやレイアウトを考え、見やすくわかりやすいおたよりを作成する。

## ◎評価結果

- ・クラスだよりの発行をなくし、学年だよりのみとなったが、学年で共通すること以外に、各クラスで伝えたい内容を掲載し、保護者へ情報発信することができた。
- ・見やすさや文章表現、内容、子どものつぶやき、文字の大きさレイアウト等を考え話し合い、工夫しながらおたより作成ができた。
- ・写真を見ながら、その時の様子や状況などを職員で情報交換し、その後の保育にも活かし、成長したところ等を保護者にも丁寧に伝えられた。
- ・未満児クラスの個人記録を見直し、3, 4, 5歳児と同じ形にした。写真付きで伝えたことで様子をイメージしやすくなったと思う。

## [step4]一人一人の成長の様子や園生活の様子をそれぞれ十分に伝える工夫

### ◎具体的項目

- ・個人記録に写真を使用し、子どものつぶやきやエピソード等、その時の様子を詳しく記入する。
- ・子どもの様子を送迎時に伝え、保護者とのコミュニケーションを図る。
- ・個人記録や連絡帳にはできるだけ具体的な内容を伝える工夫をする。
- ・保育参観の際に一緒に活動を行うことで、子ども様子や成長を見てもらう機会を作る。

## ◎評価結果

- ・園でしか見られないような姿や保護者が知りたいと思うことを考え、エピソードを加え、わかりやすく伝えるように心がけた。(にこびん記録)
- ・2か月分の記録をまとめて伝えることの難しさを感じた為、記録の取り方を普段から工夫していきたい。
- ・保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、成長している事などを送迎時に伝えたことで、保護者と一緒に成長を喜び合うことができた。
- ・YouTubeでの動画配信を活用し、クラスの雰囲気や普段の子ども達の姿を見てもらうことができた。
- ・送迎時やおたよりをとおして子ども達の様子を伝えることができた。

○評価者1

園全体、先生達が子ども達を第一に、楽しく安全に生活できるよう努力、工夫していただいていることが分かった。一人ひとりに目をむけて、その子に合った環境を工夫している。  
コロナ等で、親の参加行事が少なくなり、親同士の交流が少なくなったことに寂しさを感じるが子供も、保護者も、先生方も毎日楽しく過ごす園であってほしいと思っている。みんなで協力しながら、園を良い空間に出来たら素敵だと思う。

○評価者2

先生方が日々、子供達や保護者の事を考えて、いろいろと取り組んでいる様子が良くわかった。役員をした事で、先生方をはじめ保護者の皆さんや子供達と接する機会が増え親にとっても充実した園生活であった。感謝している。

○評価者3

目標達成に向けて、具体策が明確化されていて良いと思う。評価結果も様々な努力や工夫をした事が伝わってきた。一方で実践できなかった事や今後の課題等も記述されていたので、その点は、今後さらにより良いものになっていくのではないかと感じた。

○評価者4

園児確保は一関市内、県内どこでも課題になっている。いろいろ企画し、未就園児保護者に対して発信し、園児募集に繋げていく努力、前向きな姿勢に好感を持っている。また、自己評価を拝見し働き方をシンプルにし、情報共有化、園全体の見直し等努力していることを感じる。